

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 青野 正 (鈴木敏亮)	内線	3931 (3946)
------	-------	---------------------	-------------------	----	----------------

事業種目	中山間 総合整備	事業名	事業区間	総事業費	9.8億円
		中山間地域 総合整備事業	朝来地区	内用地補償費	0.2億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来郡朝来町			H16	H16	H20

事業目的	事業内容
<p>農村振興基本計画（平成14年3月策定）のなかで「人が集い交流と実りを育む個性豊かな谷づくり」を掲げ、地形的条件から六つの谷が有する優位性を活かした地域づくりや多様な交流事業の展開に努めて、持続的かつ総合的な農村振興をめざしていくことを将来像として掲げている。</p> <p>この実現に向け、本事業においては、地域固有の豊かな自然環境や歴史・文化資源の保全活用に努めるとともに、地域の特産である岩津ネギをはじめとした営農組織による直売方式が確立されつつあることから、今後、生産基盤整備の推進によって優良農地の保全を推進し、一層の組織強化、高付加価値農業を展開していく。</p> <p>事業主体：朝来町</p>	<p>1. 農業生産基盤 (用排水路改修L = 3.6km、農道舗装L = 5.9km、ため池改修1箇所) (国55%、県13%、町・地元32%)</p> <p>2. 生活環境基盤 (農業集落道改修 L = 0.5km、農業集落排水路改修 L = 0.7km、公園等用地整備2箇所、農村公園施設整備6箇所) 集道・集排(国55%、県6%、町・地元39%) 用地・公園(国55%、県3%、町・地元42%)</p> <p>3. 生態系保全施設 (鳥獣害防止柵 L = 11.5km) (国55%、県6%、町・地元39%)</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>昭和40年代に整備され長年を経過している地域については用排水、農道などの施設の老朽化が著しく、維持管理に苦慮している状況であり、農業従事者の高齢化、兼業化が進む中、優良農地を保全し営農の安定化を図るうえで生産基盤の整備が必要とされている。また、各地域資源を活かし、良好な農村環境と調和した魅力ある地域整備を行うとともに、計画的な交流施設の整備・充実等の総合的な取り組みを行い、農業農村の有する多面的機能の維持・保全を図る必要性がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>生産基盤整備によって、地域性を活かした多様な営農体系が可能となり、高付加価値農業に向けた新たな展開が可能となる。また、農村公園等の整備を行い都市農村交流の舞台として位置づけることによって、交流人口の増加が期待でき、地域活性化、農業振興とともに図られ、農業・農村の持つ多面的機能の維持・保全に寄与するものである。</p> <p>費用便益比 B / C = 1 . 3 3</p>
(3)環境適合性	<p>本事業においては、大きく地形的改変を伴う工事はないが、農村公園の整備については、間伐材を多用するなど農村景観や周辺環境に配慮した工法を用いる。また、本年度に但馬県民局で花と緑による豊かで魅力ある地域景観形成を目的とした「南但馬地域景観形成構想」を策定されるため、この事業でも景観に優れた整備を行う。</p>
(4)優先性	<p>平成12年5月に播但連絡自動車道朝来インターチェンジ及び道の駅フレッシュあさごの開設による交流人口は増加傾向にあるが、平成18年度開通予定の北近畿自動車道による阪神間から但馬方面への人の流れが変動する恐れがあるため、個性豊かな谷づくりを通して、早急に都市との交流を基盤とした農業振興、地域振興を促進していく必要がある。</p>